

体育実践学学位プログラム 身体教育・健康教育コース（博士前期課程）								
養成する人材像	体育スポーツに関する専門知識ならびに体育スポーツ現場への幅広い視野を有し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者・高度職業人・学術的实践者を養成する。特に、身体教育および健康教育に関する体系的知識を修得し、教育現場における課題を実践的に分析し解決する能力を養成する。							
教育研究の特徴	あらゆる分野で証拠に基づく実践が求められています。このことは、身体教育・健康教育分野においても例外ではありません。加えて、教育現場からは実践力を有する保健体育教諭、養護教諭の養成が求められています。そのため、本コースでは、身体教育・健康教育に関する多様な研究領域をカバーし、その基礎から応用まで幅広くかつ高度に学究できるカリキュラムを用意するとともに、1・2年を通して実施される「プラクティカム」では、学外の小学校、中学校、高等学校等における実習を通して、子ども理解を深めつつ、保健体育教諭や養護教諭としての実践力を獲得することを目指します。 なお、本コースには、修士（体育科学）の取得を目指す学位プログラムと修士（体育実践学）の取得を目指す学位プログラムが設定されており、それぞれの研究成果を前者は修士論文、後者は実践課題学期小論文としてまとめます。							
修了後の進路	中学校・高等学校教諭（保健体育）／養護教諭／専門学校教諭など							
年次・学期 科目区分	1年次				2年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目 （必修）	身体総合学術論	2						
研究群共通科目 （必修）	研究報告演習Ⅰ	2			研究報告演習Ⅱ	2		
基礎科目 （選択）	身体教育学特論	2			授業づくり特論A	2		
	健康教育学特論	2			授業づくり特論B	2		
	教育生理学特論	2			授業づくり特論C	2		
	公衆衛生学特論	2						
	養護教諭特論	2						
	インクルーシブ体育特論	2						
	他学位プログラム・コース科目							
専門科目 （選択）	プラクティカム(教育)Ⅰ	2	プラクティカム(教育)Ⅱ	2	プラクティカム(教育)Ⅲ	2	プラクティカム(教育)Ⅳ	2
研究指導科目 （必修）	体育実践学研究Ⅰ	1	体育実践学研究Ⅱ	1	体育実践学研究Ⅲ	2	体育実践学研究Ⅳ	2
履修方法	次の履修方法により、30単位以上を修得すること。 (1) 大学院共通科目: 2単位 (2) 共通科目: 4単位 (3) 基礎科目: 所属コースの科目から8単位以上 (4) 専門科目: 所属コースの科目から2単位以上 ※研究指導教員が担当する科目は必ず選択する。 (5) 基礎科目及び専門科目を合わせて18単位以上 ※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる。 (6) 研究指導科目: 体育実践学研究Ⅰ～Ⅳの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。							
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文に代わる実践の場における課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。							
その他の学修・研究			実践課題学期小論文（論文に代わる研究成果）		中間発表会 実践課題学期小論文（論文に代わる研究成果）		実践課題学期小論文（論文に代わる研究成果） 実践課題学期小論文の審査 最終試験 最終発表会	